

2023年6月15日
商工中金

災害に強いまちづくりや再生材の利用による省資源化に取り組む 株式会社大安組様をポジティブ・インパクト・ファイナンスにてサポート

商工中金は、サステナブルファイナンスなどの取組みを通じ、お客さまのサステナブル経営および持続可能な社会の実現に貢献していきます。

商工中金（京都支店）は、株式会社大安組様（本社：京都市左京区、代表者：大村安司様）に対し、サステナブル経営に必要な資金1億円を融資しました。本融資については、ポジティブ・インパクト・ファイナンス（※）を適用しています。

同社は、賃貸マンション、病院、ホテル等民間建築工事と公共工事を手掛ける建設業者です。施主との対話を重視し、新築工事だけでなく賃貸物件の管理業務やメンテナンス業務まで幅広く対応。持続可能な社会の実現のため、京都の街並に合う建造物の建築・再生のほか、災害に強いまちづくりへの取組みとしてインフラ建造物の維持等に貢献しています。

今回同社は、再生材の利用促進や省エネによる環境負荷の低減等の取組みを通じて、一層の成長を図るため、サステナビリティに関するKPI（注）を設定。環境経営を通じて、経営の持続可能性を高め、経済的価値の向上のみならず、社会的価値の向上や働き手の幸せを実現していきます。

（注）同社KPI詳細は、商工中金HP掲載の「[ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書](#)」をご覧ください。

商工中金は、現地訪問や経営者との対話を通じた事業性評価を行い、株式会社商工中金経済研究所と連携してインパクト評価を実施。株式会社日本格付研究所（JCR）より第三者意見書を取得し、同社の強みと課題そして目標（KPI）を共有。同社の企業価値向上のために必要な資金をポジティブ・インパクト・ファイナンスにて融資するとともに、目標達成に向けた取組みをサポートし、伴走支援していきます。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまのサステナブル経営の取組みを積極的にサポートしてまいります。

【株式会社大安組様の概要】

| | |
|------|----------------------|
| 所在地 | 京都府京都市左京区一条寺大原田町20-5 |
| 代表者 | 大村 安司 様 |
| 業種 | 総合建設業 |
| 資本金 | 3,500万円 |
| 従業員数 | 29名（2023年4月時点） |
| 設立 | 1979年6月 |



【京町屋施工例】

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



(※)「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」について

ポジティブ・インパクト・ファイナンスとは、企業活動が環境・社会・経済に対して与えるインパクト（ポジティブな影響・ネガティブな影響）の包括的な分析・評価、サステナビリティに関する目標設定とモニタリング、及び資金供給を通じ、企業の「社会的価値」「働き手の幸せ」「経済的価値」を総合的かつ持続的に高めていくことを企図した「伴走支援型融資」です。

本融資スキームは、国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP FI)が公表したポジティブ・インパクト金融原則に準拠しており、商工中金および商工中金経済研究所がインパクト評価書を作成し、セカンドオピニオンとして(株)日本格付研究所より第三者意見書を取得しています。

